

# 事業計画及び成長可能性に関する事項

研究開発型企业に向けて



**UPCON**  
アップコン株式会社

# 目次

---

- 01. 会社概要
- 02. 事業概要
- 03. 市場環境
- 04. 優位性
- 05. 成長戦略

# 1.会社概要

---

企業名	アップコン株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611
事務所一覧	札幌事務所 北海道札幌市中央区北2条西2丁目3-2 仙台事務所 宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル 名古屋事務所 愛知県名古屋市中区丸の内3-7-26 ACAビル5階 大阪事務所 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番5号南船場SOHOビル702 福岡事務所 福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階
代表者	松藤 展和
設立	2003年6月
資本金	7千万円
上場市場	名古屋証券取引所ネクスト市場
証券コード	5075
従業員数	45名（2023年4月現在）
事業概要	事業概要 土木工事業 ■コンクリート床スラブ沈下修正工法【アップコン工法】 ■ウレタン製土壌改良材【ナテルン】 ■農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法【FRT工法】 上記工法の施工・施工管理および販売ウレタンを使った新技術の研究・開発 特許保有件数 国内9件 海外7件

※各事務所には従業員の配置はありません。お問い合わせ専用電話の設置になります。

## 基本理念

健康第一 安全第一 家庭第一

## 経営方針

スピードと環境を重視した経営を行い、社会貢献度の高い研究・開発型企业となることを目指します。

# 2.事業概要

---

## アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 及び研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。

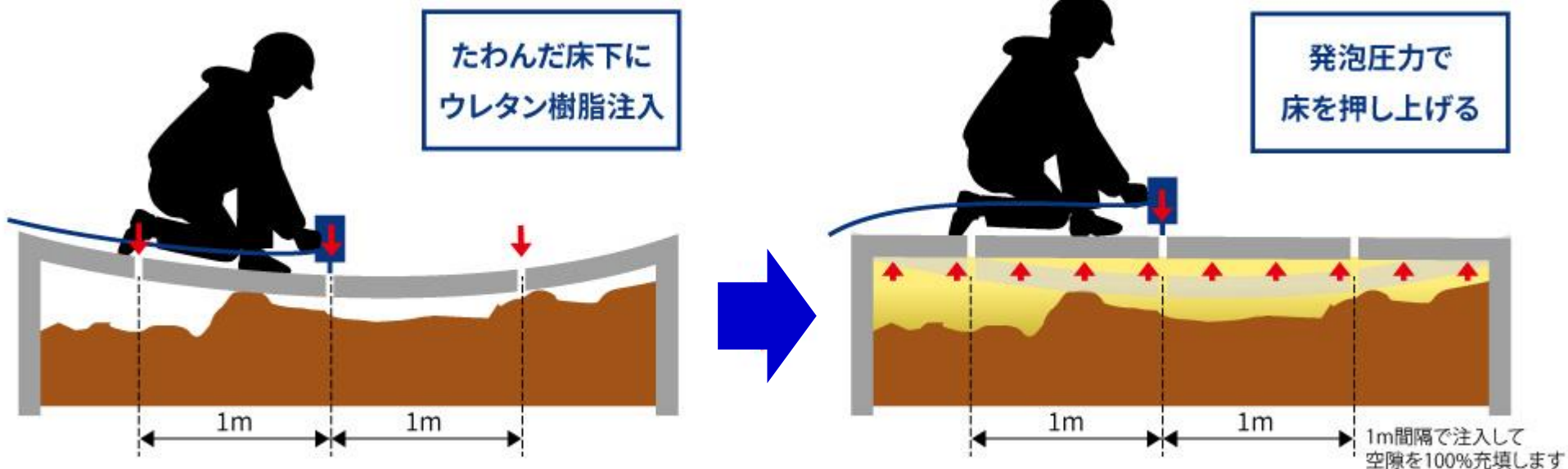
また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。



## アップコン工法

### 【コンクリート床スラブ沈下修正工法】とは

沈下・段差・傾き・空隙などが生じた既設コンクリート床に、1m間隔で直径16mmの小さな穴を開け、ウレタン樹脂を注入します。ウレタン樹脂は、短時間で発泡し、その圧力でコンクリート床を床下から押し上げて傾きや段差などを修正します。ウレタン樹脂の注入は、既設コンクリート床の高さを計測機器で常時ミリ単位で監視しながら行い、樹脂の最終強度は約60分で発現します。床下に空隙が発生している場合、同じ方法でウレタンを注入、ウレタン自らが発泡する特性によって、狭い隙間でも入り込み空隙を充填することが可能です。





# 事業紹介 沈下修正セグメント

民間事業・公共事業のセグメントで沈下修正を行っております。



## 民間事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法  
(アップコン工法)

引越し不要、操業・業務を止めない工法。  
工場・倉庫・店舗・住宅など、日本全国及び  
海外での沈下修正工事を行います。

**工場・倉庫・店舗・住宅・事務所/海外施工等**



## 公共事業 ※公共インフラ系

- ・コンクリート舗装版補修工法
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式  
ウレタン充填工法 (FRT工法)

高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の  
沈下修正及び空隙充填工事を行います。  
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

**道路・農業用水路トンネル・空港・  
港湾・学校・自衛隊施設等**

# 3.市場環境

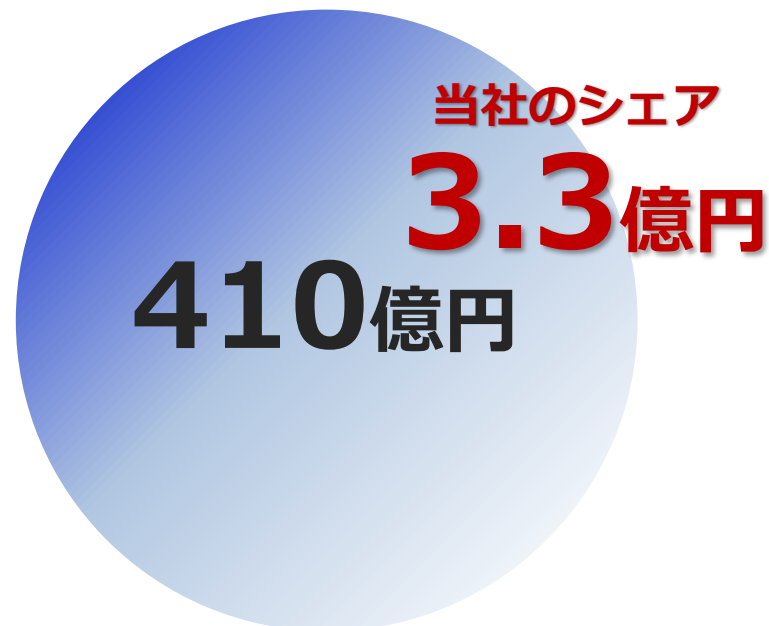
---

## 市場規模（民間事業・公共事業）

🏠 住宅

🏭 工場・倉庫・店舗

🛣️ 道路

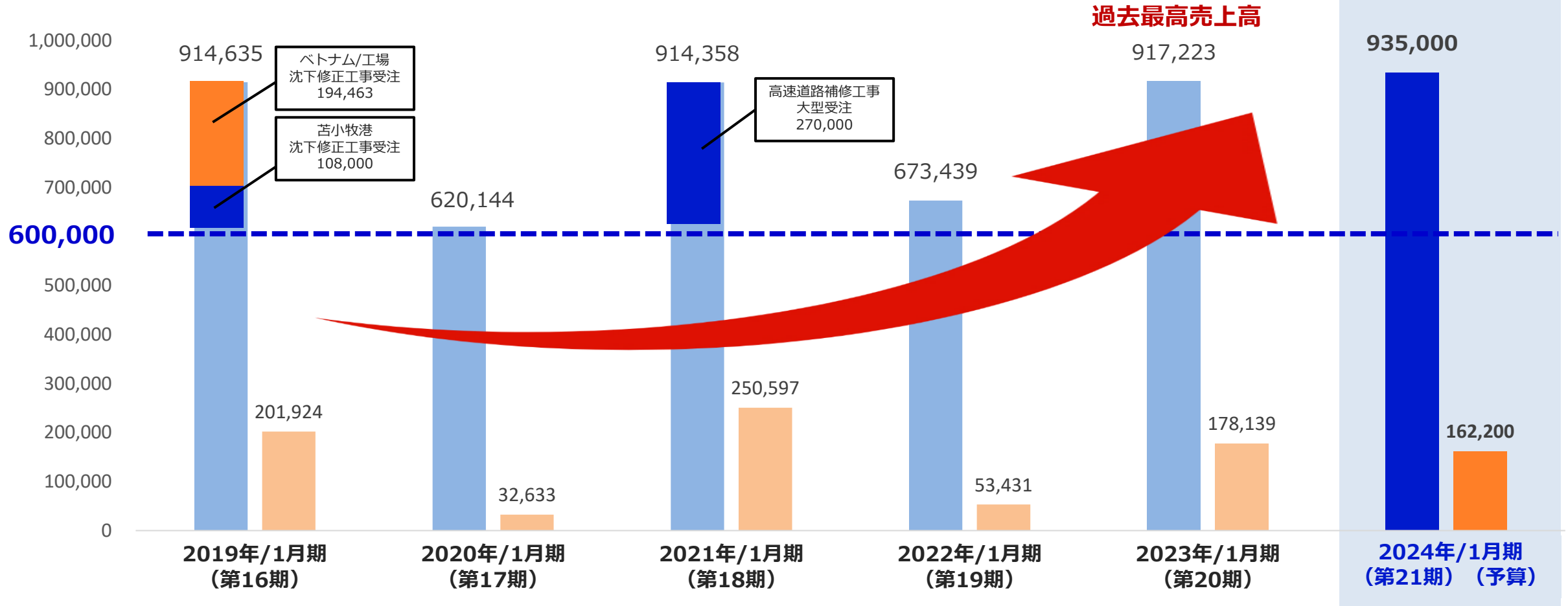


ウレタンのシェア拡大で十分な伸びしろがあります

# 市場環境 売上高・経常利益の推移

単位：千円

■ 売上高 ■ 経常利益



**売上高6億円をベースにシェアを獲得**している。大口受注や自然災害により売上が大幅に伸びる傾向がある。

# 4.優位性

---



# 1.短工期

## コンクリート打替え工法

沈下した  
コンクリート  
撤去  
(コンクリート版破砕)

新しいコンクリート打設

- 配筋/型枠設置
- コンクリート打設
- 仕上げ/養生/  
型枠撤去など

10日以上

アップコン  
工法

アップコン工法なら、工期1/10!

アップコン工法  
特長

# 3.高い技術力

# 2.操業を止めない



# 4.施工がコンパクト





# 1.短工期

## 工期は従来工法の1/10

アップコンのウレタン樹脂を使用した施工は既設のコンクリート床の取壊しや養生期間を必要としないため、従来工法と比較し大幅な工期の削減を実現します。



# 2.操業を止めない

## 操業・業務を止めずに短時間施工が可能

既設コンクリート床の取り壊しをせず修正するため、機械、ラック、荷物の移動が不要。操業を止めずに施工が可能です。操業を止めず、短工期で修正することでトータルコストの削減に貢献します。



## 3.高い技術力

### 100%自社社員による責任施工

徹底した教育を受け、経験を積んだ自社技術スタッフが責任施工。精度の高い仕上がりでお客様のお悩みを解決します。



## 4.施工がコンパクト

### 速やかに現状回復が可能

アップコンは資機材一式を搭載した施工プラント車で全国へ伺います。建物の出入り口付近に施工プラント車を配置し施工を行うため、大型プラントの設置、撤去が不要です。

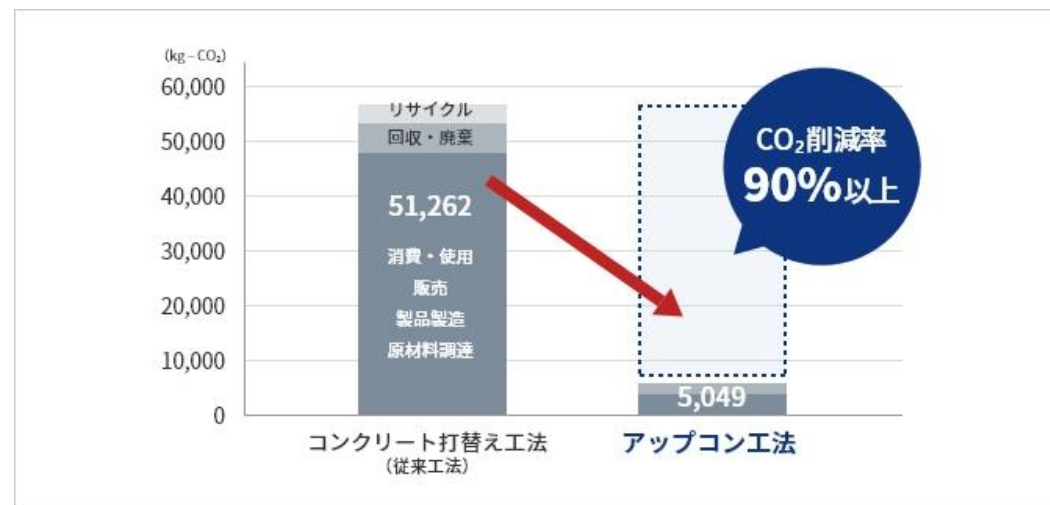




# 従来工法と比べ90.2%のCO<sub>2</sub>排出量を削減

従来工法と比較して工事に必要な材料調達から、施工過程、工事終了後の産廃リサイクル等までのライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を90.2%削減できます。

- 施工条件：面積1,000m<sup>2</sup>、コンクリートスラブ厚150mm、最大沈下 -70mm
- 環境専門コンサルティング算出



# 環境に安全な材料を使用

## 完全ノンフロン硬質発泡ウレタン樹脂を使用

アップコン工法で使用する硬質発泡ウレタン樹脂は、国内の製造メーカーと共同開発したフロン・代替フロンを発生しない完全ノンフロンのウレタンです。成形後、水や海水、土中に含まれる他の物質に対して溶融しないため、土壌汚染を起こさず環境に安全な材料です。



# 5.成長戦略

---

シェア拡大

新市場創出

グローバル展開

■ 沈下修正のシェア拡大

■ 研究開発による新市場の創出

■ ベトナムをはじめとしたグローバル展開

## 事業重点エリア

▶ 当社の施工実績として緑（北海道・東北北南）・ピンク（関東）・青（東海・中部）・紫（関西）・赤（九州）の顧客データが豊富にあり、リピート率の向上が見込める。

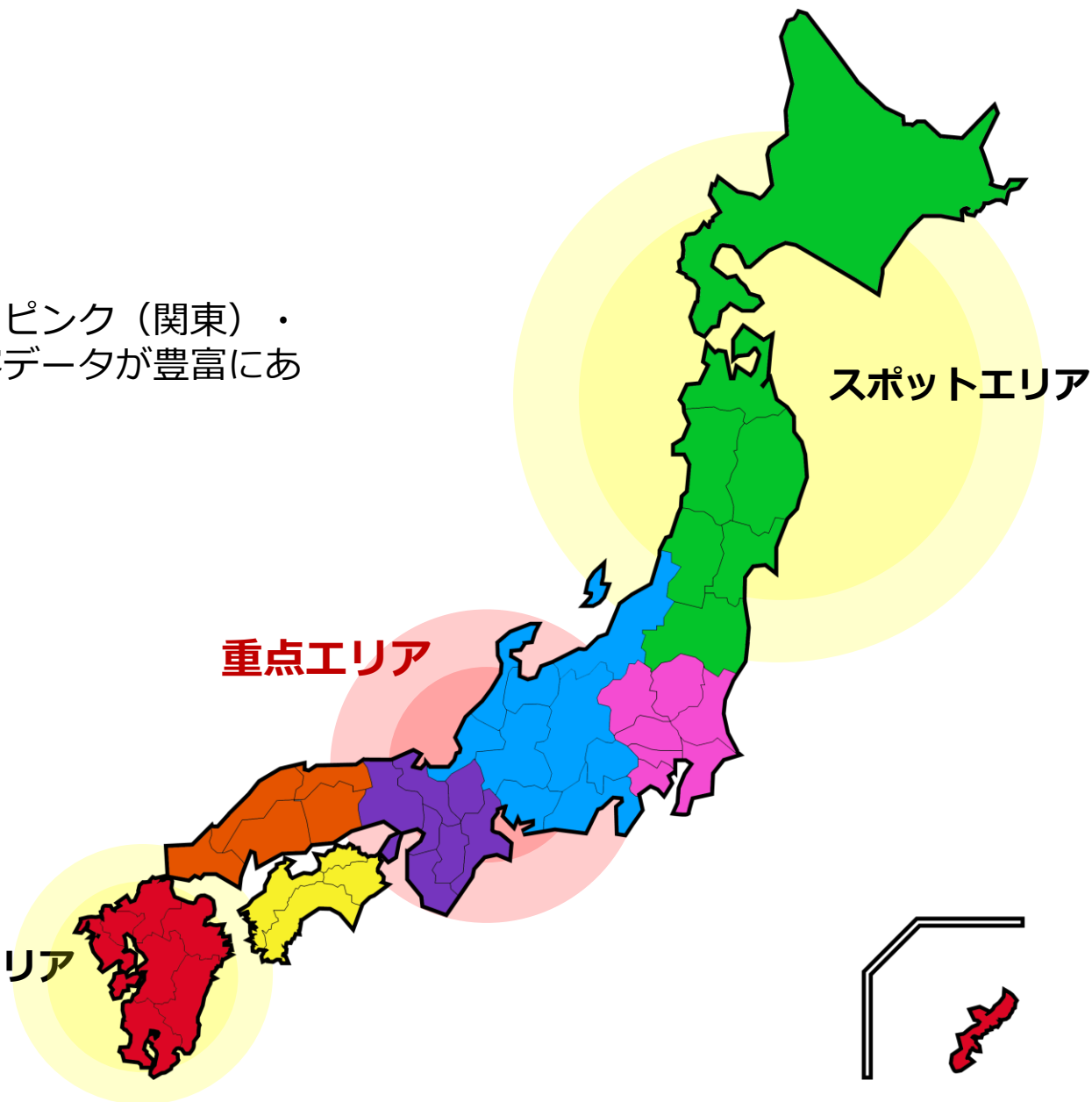
▶ 比較的、軟弱地盤地帯に建物が集中しておりプラントの拠点地としての候補地が豊富である。

- 東北・北海道地方
- 関東地方
- 北陸・東海地方
- 近畿地方
- 中国地方
- 四国地方
- 九州・沖縄地方

スポットエリア

重点エリア

スポットエリア



# 研究開発プロジェクト

## 研究開発から早期事業化へ

(5つの研究開発プロジェクトが進行中)



杭状地盤改良プロジェクト



電柱プロジェクト



リサイクルプロジェクト



OFP 応急復旧プロジェクト



ブラストプロジェクト



## 農業用水路トンネル機能回復加圧式 ウレタン充填工法（FRT工法）



### 2016年1月期 事業化に成功

インフラ施設の老朽化対策として、農林水産省の平成22～24年度官民連携新技術研究開発事業を活用し、FRT工法の研究開発を行い2016年1月期に事業化に成功。

### 農業水利施設の50%が耐用年数を超過

2020年時点で基幹的な農業水利施設の50%が既に耐用年数を超過し、今後10年のうちに標準耐用年数を超過する施設は全国全体の17%（4,102箇所）。

日本全国の農業用水路トンネルの総延長は、約2,000km。

出典：農林水産省 「農業水利施設におけるストックマネジメントの取組について」（2023年3月版）

## グローバル展開

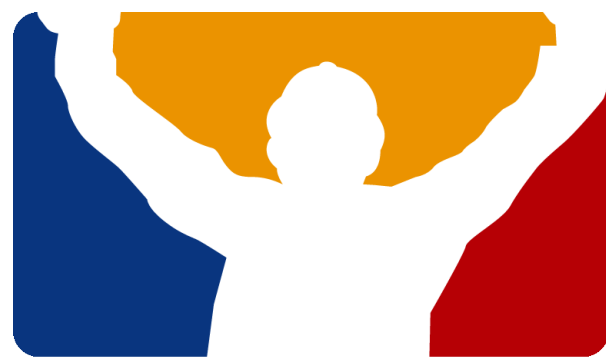
### 2019年12月 L a c V i e t 社(ベトナム) と ノウハウライセンス契約書を締結

- ・ 新型コロナウイルス感染症の収まり次第では2023年下期施工実施に向けてハノイでの展示会出展も視野に入れL a c v i e t 社と共同で出展計画を立案していく。

- ・ 見積件数2件（2022年9月現在）2024年1月期第21期は見積件数目標を10件としL a c v i e t 社と営業力を強化。アップコン工法の教育を早期に行う教育目標を策定し現地から教育実習生の採用を行い日本国内での施工教育を行っていく。

- ・ ジェトロ本部海外展開支援課とも協議し市場調査及び交流機会を増やし現地情報収集及び営業担当者を配置し営業力の強化を行う。





ニッポン上げろ!